

3月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 64号



2021年6月10日発行
鳥取県大山町議会

<https://www.daisen.jp/gikai/>



新議員決まる.....	2
14人が一般質問	11
議会の構成決まる	26

聖火リレー大山町を駆け抜ける

令和3年4月18日の一般選挙で選出された議員を紹介します。

(任期 令和3年4月24日～令和7年4月23日)

新たな議員の構成は、26ページに掲載しています。

※議員名、期数、所属、年齢、行政区



岡田 聰

(おかだ さとし)

5期 無所属 82歳 中高一区



近藤 大介

(こんどう だいすけ)

5期 無所属 54歳 上前谷



大森 正治

(おおもり しょうじ)

4期 日本共産党 72歳 坊領



**副議長
大原 広巳**

(おおはら ひろみ)

3期 無所属 64歳 所子

副議長に選出いただきまして、責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、本町の課題は、少子高齢化を起因とする弊害が、あらゆる場面でお

こっていることではないかと思えます。

議会は、町執行部と連携し、これらの課題解決のため尽力しなければなりません。

今後は、議長とともに、開かれた議会運営を行い、町民の負託に答える覚悟であります。

皆さまのご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。



門脇 輝明

(かどわき てるあき)

2期 公明党 69歳 福尾



森本 貴之

(もりもと たかゆき)

2期 無所属 35歳 安原



小谷 英介

(こだに えいすけ)

1期 無所属 38歳 大山口



豊 哲也

(ゆたか てつや)

1期 無所属 43歳 蔵岡

新議員が決まる!

～町民の福祉向上のためにがんばります～



杉谷 洋一
(すぎたに よういち)
4期 無所属 73歳 平



吉原 美智恵
(よしはら みちえ)
5期 無所属 68歳 押平2区



野口 俊明
(のぐち としあき)
5期 無所属 72歳 赤坂



議長
米本 隆記
(よねもと たかよし)
4期 無所属 63歳 上坪東

このたび議長にご推挙いただき身に余る光栄であり、責任の重さに身が引き締まる思いです。

いま、コロナ禍における産業の停滞は、町内の活力を失わせています。どのように施策を執行していくのか、議会は監視役として責任を果たさなければなりません。これまでも開かれた議会の取り組みを進めてきましたが、より町民の皆さまに身近な議会となりますよう、集落などにこちらから出かけて直接お会いし、ご意見などをいただきたいと考えております。

町民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



大杖 正彦
(おおつえ まさひこ)
3期 無所属 74歳 大山



池田 幸恵
(いけだ ゆきえ)
2期 無所属 48歳 退休寺



島田 一恵
(しまだ かずえ)
1期 無所属 65歳 みどり区



西本 憲人
(にしもと のりと)
1期 無所属 40歳 内蔵

000万円が可決

3月定例会は、2月26日から3月16日までの19日間の会期で行いました。

4月に任期満了による町長選挙が行われるため、骨格予算となりました。

令和3年度一般会計・特別会計・水道事業会計の15議案、条例改正3議案、条例廃止3議案、令和2年度補正予算15議案など全43議案を審議した結果、すべて原案どおり可決しました。

また、新型コロナウイルスの接種体制の整備や、道の駅大山恵みの里が来場者200万人を達成したことなど町長から報告を受けました。

※骨格予算とは

町長、議員の選挙があるため、人件費などの必要最小限の経費を計上した予算のこと。

主な継続事業

- 橋梁長寿命化修繕事業
.....2億4300万円
倉谷橋、豊成橋の補修工事など
- 町道中山インター線
.....1億300万円
山陰道中山ICから国道9号線を直結させる事業の推進
- 所子伝統的建造物群保存地区
保存事業3680万円
地区内のトイレ設置など



工事中の中山インター線

主な新規事業

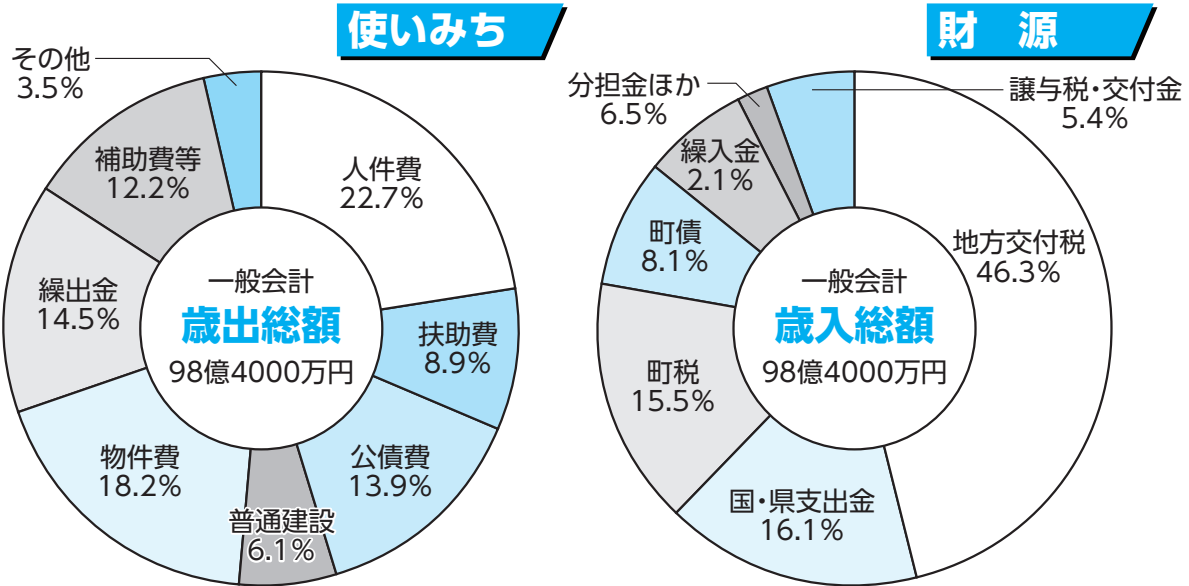
- 大山ひめぼたる保育園
.....2351万円
保育園の運営経費



4月開園の大山ひめぼたる保育園

- 史跡大山寺旧境内整備事業
.....1838万円
石垣修理、金剛院修理など
- 新型コロナウイルスワクチン
接種体制確保事業620万円
ワクチン接種を円滑にする体制づくり

骨格予算98億4



◆一般会計内訳 (金額・説明)

		項目	令和3年度	令和2年度	比較増減	説明
歳入	自主財源	町税	15億2892万円	15億8873万円	△5982万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
		分担金ほか	6億2870万円	5億7961万円	4909万円	分担金・使用料及び手数料・財産収入・寄付金
		繰越金	1000万円	1億円	△9000万円	前年度からの繰越金
		繰入金	2億424万円	6億9184万円	△4億8760万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	依存財源	譲与税・交付金	5億3032万円	4億9191万円	3841万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		地方交付税	45億6000万円	46億4000万円	△8000万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		国・県支出金	15億8292万円	20億2481万円	△4億4189万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
		町債(借金)	7億9490万円	7億6310万円	3180万円	町が事業を行うために借り入れるお金
		合計	98億4000万円	108億8000円	△10億4000万円	
歳出	義務的経費	人件費	22億3403万円	22億8189万円	△4786万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
		扶助費	8億7363万円	8億7409万円	△46万円	医療費・児童手当などに使うお金
		公債費(借金返済)	13億7187万円	14億933万円	△3746万円	町の借金を返済するためのお金
	投資的経費(普通建設事業)	5億9948万円	14億4302万円	△8億4355万円	道路整備・建物などの建設に使うお金	
その他	その他	物件費	17億9144万円	18億円	△856万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
		補助費等	11億9812万円	13億904万円	△1億1092万円	補助金・負担金、自動車や建物の保険料、謝礼金など
		積立金	1億9037万円	1億6027万円	3010万円	町の基金に積み立てるお金
		繰出金	14億2603万円	14億951万円	1653万円	特別会計に繰出金として支出するお金
		その他	1億5502万円	1億9285万円	△3783万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
		合計	98億4000万円	108億8000万円	△10億4000万円	

令和3年度当初予算

一般会計

質疑

チェックします

3月定例会

議案の

質疑

討論

コミュニティ・スクール

〔森本議員〕コミュニティ・スクール(学
校運営協議会制度)
推進事業の内容は、
〔教育次長〕令和4
年度から設置が義務
化している。
管理職研修や専門
員の報酬などを予算
付けられたため、新
年度から取り組んで
いく。

就農支援

〔大森議員〕新規就
農者総合支援事業の
概要は。
〔農林水産課長〕次
世代を担う農業者
に5年間、年額最
大150万円を支
払う。

シンククライアント委託料

〔岡田議員〕シンク
クライアント運用保守
委託料2397万円
の目的は。
〔総務課長〕1台の
パソコンでインター
ネット接続と行政専
用ネットワーク接続
が可能になり、業務
の効率化がはかれる
ようになった。
コロナ禍の状況次
第で、今後は在宅勤
務も可能になる。

交通安全施設整備工事

〔野口俊議員〕交通
安全施設整備工事の
予算増額理由は。
〔建設課長〕起債対
象になるのが来年度
までである。修繕な
どが必要なガード
レール約1km、カー
ブミラー約10基の予
算を計上している。



修繕を待つガードレール



地域課題の解決に向けて

地域自主組織補助金

〔米本議員〕地域自
主組織育成事業補助
金3000万円(10
組織分)について、
各組織の活動がまち
まちだが、町はどの
ように指導してい
くか。
〔企画課長〕年に数
回、各組織の会長に
集まってもらい、各
組織の活動の情報共
有を行い、地域活性
化の取り組みを進め
ている。課題解決に
つながるよう働きか
けていきたい。

ナラ枯れ対策

〔池田議員〕ナラ枯れ対策の予算が減ってきている理由は。

〔農林水産課長〕伐倒駆除の実績が減ってきているため。

観光PR

〔吉原議員〕観光案内所の運営について、コロナの後の戦略は考えているか。

〔観光課長〕コロナ禍の影響で観光客が減ってきている。観光ホー



コロナ禍後の戦略をどうする

令和2年度補正予算

一般会計

質疑

コロナ対策

〔大杖議員〕新型コロナウイルス感染症検査費補助金について、高齢者施設で働く市民のPCR検査費用を助成するということが、何人分の予算か。

〔健康対策課長〕160人が2回受けることを想定して予算化している。

〔森本議員〕大りこえよう！大山町商工業者給付金の内容は。

〔企画課長〕新型コロナウイルスの影響を受けた商工業者に、事業の継続を目的として、収入減少率に応じた給付金支援を行う。



コロナに負けるな

診療所経営

〔門脇議員〕新型コロナウイルス感染症の影響で、診療所の利用が減っているというところだが、どの程度か。

〔健康対策課長〕令和2年度見込みで、名和診療所は15%減、大山診療所は10%減、大山診療所は12%の増である。

〔近藤議員〕診療所会計の令和2年度の収支見込みは。

〔健康対策課長〕約6000万円の赤字を見込んでいる。令和3年度に経営計画を策定し、経営改善の検討をしていきたい。



コロナ禍で診療所の赤字も心配だ

3月定例会

常任委員会

の活動

総務 常任委員会

防災専門員

Q防災監を配置する予算がなくなっているが。

A経験者を防災監にと探してきたが見つからず、職員を防災専門員として配置することを検討している。

総務課

自主組織への補助

Q地域自主組織への上限300万円の補助金は、出し続けるのか。

A各組織には、永久に続くものではないと伝えている。見直しを検討しているが、容易ではない。

企画課

業務量の軽減

Q軽自動車税のシステム改修でどう変わるか。

A軽4輪、自動2輪などの登録・廃止は紙ベースで行っていたが、電子化することで業務量を減らすことができる。

税務課

利便性が向上



供用が始まる下市駅南口

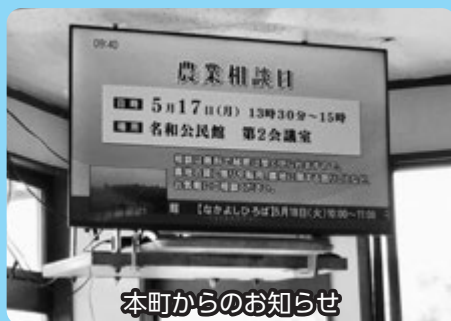
3月3、4日の2日間、所轄する各課から議案の説明を受け審査し、5日には特別委員会への報告をまとめた。

また、8日には完成間近の小規模保育所、JR下市駅南側出入り口などを視察した。

大山チャンネル

Q大山チャンネルの業務委託先を公募に変更した理由は。

A競争先もなく随意契約だったが、番組制作をしたいという業者が現れたためである。



本町からのお知らせ

総務課

金融機関の手数料

Q本町が支払う各金融機関の手数料はどう変わるか。

A現在は金融機関ごとで差があるが、1件あたり60円程度に値上げされると聞いている。

会計課

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

教育民生 常任委員会

学校給食費

Q一食当たり単価の変更額は。

A平成16年から据え置きであったが、10円の値上げとなる。一食当たり小学校は288円、中学校は338円となり、半額学校給食補助金で保護者負担は5円の増額となる。



18年ぶりの値上げ

幼児・学校教育課

図書館費

Q新規購入図書の詳細は。

A利用率の高い児童向けの百科事典の「ポプラディア」を全図書館に購入する。

社会教育課

なぜ減らない不法投棄



不法投棄の現場

3月3、4、5日の3日間、所轄する各課から事業説明を受け審査した。

8日には、大山ひめぼたる保育園や旧庄内小学校体育館、大山西小学校体育館、不法投棄現場視察を行った。

疾病予防費

Q人工知能（AI）を活用した受診勧奨の効果は。

Aハガキを見ての問い合わせや受診予約など、良い反響がみられている。

健康対策課

タクシー助成事業

Q令和3年度は、社会福祉費ではなく公共交通対策費として計上されているが。

A令和3年度から、所管が福祉介護課から企画課へ変更となった。

福祉介護課

ネウボラ推進事業

Q制度拡充の詳細は。

A母子保健法の改定により対象を産後4か月から産後1年未満に拡大する。また、産後ショートステイ事業を創設する。

こども課

経済建設 常任委員会

コロナ対策

◎小規模農家にも、何らかの支援が必要ではないか。

▲国からの交付金次第だが、検討はしている。農業に限らず、漁業者への支援も検討している。

農林水産課

名和公園

◎名和公園の整備の進捗よく状況は。

▲地域自主組織とワークショップを行い、いろいろな意見をいただいている。6月補正で設計の予算を計上し、令和4年度に着工の予定である。

建設課

給水車

◎本町には給水車がないが、必要ないか。

▲アルミ製給水タンクをトラックに積み、対応している。給水車は用途が限定的で、今の設備で間に合っている。

水道課

コロナ対策予算など要望



当初予算をしっかりと審議

3月3、4日の2日間、分科会で所管する議案の説明を各課から受け審査した。

新年度当初予算は骨格予算で、政策的予算はほとんどないため、補正予算でコロナ対策の経済支援策をしっかりと予算化することなどを求めた。

SEA TO SUMMIT

◎SEA TO SUMMIT（シートゥーサミット）皆生・大山大会の効果は。

▲事務局のメンバーが自社媒体などを通じ広報しており、徐々に競技人口も増えている。町の負担金は100万円。



コロナ禍で今年も中止に

観光課

所子伝統的建造物群

◎単に文化財保護にとどまらず、観光振興、地域振興の観点から地元の取り組みを支援する必要があるのでは。

▲支援は必要と考えている。

観光課

14人が町長・教育長に一般質問を行いました。

あなたの声を町政に

◆一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

制限時間を50分間にしました。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
12	1. 地域自主組織の貢献度は 2. 「誰一人取り残さない」持続可能な町づくりとは	西山 富三郎
13	1. 特定空家等の現状は 2. スキー場利用促進事業の現状は	加藤 紀之
14	1. 森林管理と成長産業化を見据えた資源の有効活用のビジョンは 2. 本町における地域と共にある教育の重要性と課題は	森本 貴之
15	1. 大山のふもとの活性化は 2. 介護の負担軽減は	吉原 美智恵
16	1. 大山町の産業振興について 2. 町有財産の管理について	門脇 輝明
17	1. 新型コロナウイルスによる経済への影響は 2. コロナ禍の観光施策は 3. コロナワクチンの接種と体制は	米本 隆記
18	1. 「コロナ」対応・対策に万全を 2. 高齢者の支援の拡充を	大森 正治
19	1. 学校での男女共同参画について 2. 「楽しさ自給率」の現状は	近藤 大介
20	1. 中央教育審議会答申への対応は 2. 高齢者福祉の充実を	岡田 聰
21	1. 「私の思う大山町の課題」 2. 「職員の力が必要」	西尾 寿博
22	1. 少子化対策について 2. 集落営農の今後について	大原 広巳
23	1. 人口減少を食い止める政策を 2. 集落ヘルパーの創設を	野口 昌作
24	1. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を問う	大杖 正彦
	1. 誰もが住みやすい町へ	池田 幸恵

一般質問席

議事録は、議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。



西山 富三郎 議員

地域自主組織の貢献度は

町長

地域の課題や活性化のため



コロナ対策をしながらのまちづくり

〔西山〕先祖が育んだ歴史文化を尊び、地域と伴走し、自治体と切磋琢磨しているか。

〔町長〕町としても集落支援の配置、運営サポートや相談受付など自主的活動を支援している。各地域にはさまざまな地域独自の課題があり、各組織で対応している。地域の活性化維持につながると考えている。

の課題は。

〔町長〕コロナ禍に起因するものを含め対応をしていくことが地域の活性化や維持につながると考える。

〔教育長〕ウィズコロナとして感染防止対策を行い徐々に事業を再開している。

他者とのかわりが大切だと感じる。

地域社会の中で孤立する人を生み出さないこと、笑顔で元気に暮らすまちづくりが大事と思う。

誰ひとり取り残さない まちづくりとは

町長

人々が安心して
暮らせるまち

〔西山〕SDGs（持

続可能な開発目標）は

「大山町目標」・「竹口目標」の土台・基礎であるか。

〔町長〕土台基礎である。

〔西山〕職員研修は。

〔町長〕研修会を予定している。

〔西山〕町民への啓発は。

〔町長〕第2期地方創生総合戦略の取り組みを通し、持続可能な大山町が展開できるよう、町全体に広めようと考えている。

〔西山〕教育とのかわりか

〔教育長〕目標の4つ



SDGsについて学ぶ職員

目の「すべての人が受けられる公正で質の高い教育の完全普及を達成し生涯にわたって学

習できる機会を増やす」が直接深く関係するものである。



加藤 紀之 議員

空家等対策計画の現状は

町長 法にもとづき対応している

【加藤】本町の空家等対策計画にもとづく措置の現状は。適正に執行しているか。

また、計画には空家に関する相談会の実施が明記されているが、実施状況はどうか。

【町長】特定空家の件数は13件で、勧告を行っている物件が4件、指導が7件、通知が2件あり、法や国のガイドラインにもとづき対応している。

相談窓口は企画課に設置している。今後は、県行政書士会なども



倒壊寸前の空家（写真はイメージです）

連携し、専門的な相談会も実施する予定だ。

【加藤】勧告が行われた物件は税制上の特例が外れるはずだが、固定資産税の徴収はどのような状況か。

【町長】具体的な件数は控えるが、ほとんどが収納できている。

【加藤】傷みの目立つ物件もあるが、適切な計画の執行が必要ではないか。

【町長】そのような物件もあり、迅速に対応していく。

スキー場運営の今後は

町長

集客ができる

体制作りを支援する

【加藤】だいせんホワイトリゾートの支援を目的とした、スキー場利用促進事業の執行状況は。

また、スキー場運営の今後は。

【町長】2月末現在、2400万円の予算に対し、リフト券購入補助が411件、入補助が411件、300万円、スキー学校受講料補助111件、153万円となっている。

来シーズン以降も協力、連携して運営に取り組んでいく予定だ。リピーターを増やす投資的事業と考えている。

【加藤】来年度以降、積雪がどうなるかは分からない。ホワイトリゾートが撤退すれば、関連事業者への打撃ははかり知れないが、直接支援ではいけなかったのか。

【町長】経営が継続できるよう、支援は行っていく。

ただ、金銭的な支援より、集客ができるような体制づくりを支援したい。



雪に恵まれたグレンデと大山



森本 貴之 議員

林業活性化への考えは

町長

地元産材を 活用することが大切だ



官民連携の産業振興が必要

【森本】林業の成長産業化と森林資源の適切な管理は重要であり、防災・減災にも関係すると考える。

森林の管理計画策定へ向けた進捗はよくは。

【町長】森林経営管理制度における意向調査を実施している。

令和3年度には約100haの意向調査の実施を見込んでいる。

【森本】森林の適正管理を進めるにあたっての課題は。

【町長】譲与税交付額の問題と人員配置の問題が予想される。

【森本】それぞれ具体的な内容は。

【町長】譲与税については、人口での配分が大きな割合を占めており、配分額が少なければ事業推進の負担が大きくなる。

森林管理を直営で行う場合は人員が必要となる。

【森本】本町の林業活性化への考えは。

【町長】地元産材を活用することが大切だ。地元産材を使っていくことが地域経済を回す原動力になると考える。

地域教育の取り組みは

教育長

コミュニティ・スクールに 取り組む

【森本】社会の変化に対応し、新たな価値を創造することのできる人材育成が求められる。

学校教育、家庭教育、地域教育に求められる重要なポイントは何か。

【教育長】学校教育はふるさとを愛する児童生徒の育成、家庭教育は愛情や信頼関係・子どもとの情緒の安定と成長、地域教育は地域人材の活用と地域を知ることだ。

【森本】地域教育の意識共有などへの取り組みの考えは。

【教育長】地域とともにある学校づくりを目的とする。



地域とともにある教育を

指したコミュニティ・スクールが義務化される。

令和3年度は準備期間とし、コミュニティ・スクールのスタートへ向け取り組む。

【森本】地域・保護者・教職員が当事者意識を持つことが必要だ。

【教育長】学校の運営や取り組みを地域に知ってもらうことが大切だ。

【教育長】学校の運営や取り組みを地域に知ってもらうことが大切だ。当事者意識を共有しともに学校を支えてもらうことにつながっていく。



吉原 美智恵 議員

大山のふもとの 活性化と移住施策は

町長 取り組みを進めていく



美しい景観を生かす取り組みを

〔吉原〕人・モノ・情報が集まる都市の強みが、コロナ禍で市民を感染リスクにさらす弱点となっている。本町は、海と山に恵まれているが、十分に地の利が生かされていないと感じる。ワーケーションへの環境整備は。

〔町長〕「大山町宿泊施設整備事業助成金」を活用してのワーケーション利用者に対応する事業者もあり、滞在型観光を推進していく。

〔吉原〕町独自で対策を練る必要がある。空家を買取り、お試し住宅を用意するなど、関係人口を増やし、ふるさと納税者への働きかけも必要だ。北海道のかみしほろちよう上士幌町では、ふるさと納税者対象の大感謝祭を催し、人口の何十倍もの応援団を招き、関係人口増から移住へとつなげている。

〔町長〕先進事例であり、勉強し、本町にも取り入れて行きたい。

〔吉原〕介護を取り巻く現状は、年々深刻さを増し、老々介護の問題は大きくなるばかりである。そのなかで、既存の制度では対応しにくい生活支援など、多様なニーズに応える有償ボランティアの会の会を展開している団体があり、全国に拠点が広がっている。本町でも調査・研究をしてみてはどうか。

〔町長〕地域で支えあう取り組みは、全国的な課題である。生活支援という観点では、自主組織が中心となって活動できるよ

町長

政策へとつなげる

ボランティアの会 本町での実現は

う、有償ボランティアの会の研修を、職員も参加し勉強する予定である。

〔吉原〕毎日大変な思いで介護している人のためにも、ファミリー

サポートの延長のような形で始めてみてはどうか。

〔町長〕調査・研究し、政策の実現へとつなげていく。



地域で支えあう介護のために



門脇 輝明 議員

産業振興の重要な指標は

町長

各産業の総売上は重要な指標だ



農業振興をはかる野菜センター（八重）

【門脇】本町の産業振興政策を進める上で、町民に最もわかりやすく重要な指標は総売上、総収入だと考える。

町長の認識は。

【町長】各産業の総売上は重要な指標だ。

【門脇】総売上上の推移は。

【町長】農業の販売額は、ブロッコリー、梨、白ネギの農協出荷額合計が平成28年度17億8751万円、令和元年度18億9163万円だ。

観光業は数値がな

い。

【門脇】観光業の売り上げの数値がないということだが、政策を推進する上で海図も羅針盤もなく航海するようなものだ。

町民の信頼をえられない。

基礎となる数値はつかめないか。

【町長】新型コロナウイルスの影響で調査をしたものなども活用し、町内の経済の上下を示す指標をしっかりと作って取り組んでいきたい。

施設統廃合に 住民参加と計画公表を

町長

施設管理の実施計画を 策定中だ



旧庄内小学校も計画が策定される

【門脇】町有資産を維持し、町民が現在と同じ暮らしを続けようとするれば、町の収入から毎年資産の損耗を補填しなければならぬが、町の収入が縮小すれば資産を維持できなくなる。

令和元年度末の町有資産の評価額と減価償却費の総額は。

【町長】資産評価額は442億円で、減価償却費は22億円だ。

【門脇】10年先を見据えた国の交付税の増減見通しは。

【町長】地方交付税は人口減少などにより、減額を見込んでいる。

【門脇】町有施設は空気のようを意識しながら、廃止・撤去となると、いかに大切な施設か気づく。

統廃合事業を円滑に

進めるために、住民参加と計画公表を。

【町長】令和5年までの施設管理の実施計画を来年度完成に向け策定中だ。



米本 隆記 議員

一次産業の支援は

町長

引き続き検討していく

〔米本〕新型コロナウイルスによる経済への影響は多大なるものがある。国のみならず町もしっかりとした支援を考え実行してきた。特に観光業や商工業に対する事業や交付金など多大な支援になっていると感じている。

しかし、国の根幹である一次産業に対してはどうか。売り上げが減少した漁業者や農家があることも事実である。

規模の大小はあるが、支援はどうか。

〔町長〕第一次産業の従事者に対してもコロナウイルスの影響を緩和するため、さまざまな施策を進めてきた。今後、感染拡大により甚大な被害を受けた人の支援は引き続き検討していく。小規模な一次産業者にも同様である。

コロナ禍の

観光施策は

町長

基盤づくりに 取り組む

〔米本〕今年6、7月から上海便と香港便の運航が運輸省に申請されたと報道があった。本町にとっての観光施策は。

〔町長〕運航再開は観光産業にとっての願いである。しかし、すぐ

に海外からの需要が回復するとは限らない。宿泊施設の上質な個室化を促進する事業や、町民が町内観光施設の魅力を再発見し、クチコミ効果を生む基盤づくりとなる事業などに取り組んでいる。



賑わいは戻るのか（大山寺参道）

ワクチン接種の体制は

町長

人員は確保している

〔米本〕報道では本町のワクチン接種体制は確立できているとあった。

しかし、接種完了までには今年いっぱいかかるような事も言われている。

町民も不安があると思うがどうか。

〔町長〕医師、看護師は町内の医療機関と調整を行い協力してもらえらることになった。直営診療所とも連携して人員確保はしていく。聞き取り調査や接種後の様子観察にも人員配置できるように準備している。



会場でのシミュレーション



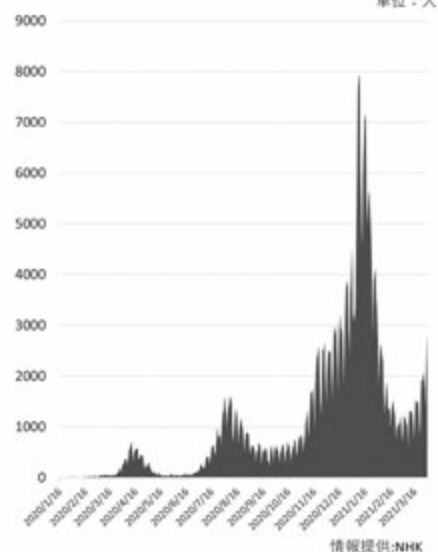
大森 正治 議員

コロナ対策を万全に

町長

必要に応じて実施していく

1日あたり国内感染者数の推移



国内感染者数の推移

【大森】コロナ感染症は令和2年11月から新年1月にかけて第3波となつて拡大した。県内でもクラスターが発生し、死者が2人出た。再び町内業者の経営は悪化しているが、次の対策は何を検討しているか。

【町長】実施中の支援策の実績を分析し、今後の状況をみながら、必要ならば「大山みんなで応援券」事業の第2弾や住宅・店舗リフォーム助成事業も考える。

【大森】低所得世帯・生活困窮者の支援として、大山町版特別定額給付金の交付、国保税・介護保険料などの軽減の継続を検討しないか。

【町長】定額給付金は検討してない。国保税などの減免は国の制度でやるものなので、要望は上げていく。

【大森】感染拡大防止には、無症状感染者を発見するためのPCR検査を拡大し、費用の助成をしないか。

【町長】予算の執行状況により検討したい。

高齢者支援の拡充を

町長

シニアカーの補助は検討する

【大森】タクシー助成制度は、町外の医療機関に行った場合、ほかの用事はできないのか。

【町長】この制度は、町内利用の目的地に制限はないが、町外利用は県中・西部の医療機関で本人の受診に限ることを基本としている。

【大森】途中で寄り道はできないということか。

【町長】原則はそうだが、例えば帰り道のコンビニでマスクが買いたいという場合は、運用上の問題として運行業者に任せている。

【大森】例えば、院外処方薬の薬局に寄ってもいいということか。



補助でシニアカー普及が進むか

【町長】運行経路上にあるなら問題はない。

【大森】町外の商店で買物してもいいのか。

【町長】自宅に戻る経路の県道沿いのスーパーに立ち寄る場合、当然買物支援という

ことで対応の対象である。

【大森】電動式車いすは高価な物だが、補助はできないか。

【町長】電動式車いす補助制度はないが、シニアカー補助は検討を進めたい。



近藤 大介 議員

かたよ 生徒会長に男女の偏りは

男女共同参画の 教育を進める

教育長

【近藤】我が国は、男女間格差の国際比較で、極めて順位が低いことが国家的な課題になってきている。男女共同参画について、国民の理解を深めていくことが一層重要であり、学校教育の場においても、しっかりと実践していくことが不可欠と考える。

町内小中学校の生徒会役員の男女比、会長・副会長の男女比はどのようなになっているか。【教育長】過去5年間の中学校の生徒会長・副会長の男女比は、およそ3対2で男子が多い。会長・副会長、別々では調べていない。【近藤】もしも、会長は男子が多く、副会長は女子が多いということであれば問題であり、著しい格差が生じないような配慮が必要と考える。



なぜ男女格差が縮まらない

【近藤】本町は、平成28年策定の総合計画の基本理念に、「楽しさ自給率の高いまちへ」を掲げている。「楽しさ自給率」を高めるために、今後、どのような取り組みが必要か。【町長】現在、基本理念を達成するための基本計画の改定作業に着手している。

【近藤】計画の素案作りにかかわった大山末来会議を再度招集し、計画の進捗よく状況を検証してもらうことも必要ではないか。【町長】10年計画の半分が過ぎ、プラン作成にかかわった人に意見を求めることは大事なことを思っている。

【近藤】経済的な豊かさ以上に、楽しさや生きがい等重要視される時代になっている。この自治体も使っていない「楽しさ自給率」を求めている。【町長】非常にユニークなものであり、この計画にもとづき施策を展開することで、本町はまだまだ発展できると考えている。

町長

意見を求めるのは

大事なこと

楽しさ自給率を

未来会議で検証せよ



楽しさを自給するとは



岡田 聡 議員

ICT活用の 教師の負担軽減は

教育長

支援員の配置などで対応



ICT活用で学びの質向上

【岡田】令和3年1月に、中央教育審議会がICTを活用して「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」を答申したが、認識は。

【教育長】一人ひとりの理解状況や能力・適正に合わせた学びを行うことで、多様な子ども達を誰一人取り残さないようにするなど、学びを補助する役割としてICT機器の活用が注目されている。

【岡田】ICTの活用には、教師の負担軽減が必要では。

【教育長】ICT支援員の業者委託や、中学校区に支援員を一人ずつ配置するなど、負担軽減をはかっていく。

【岡田】小学校5・6年からの教科担任制、中一ギャップ解消などメリットを最大限生かすことが必要では。

【教育長】専門性を持った教師によるきめ細やかな指導や授業の質の向上が期待できる。

高齢者の生活支援の 仕組みづくりを

町長

地域共生社会の実現に 努力したい

【岡田】高齢者が住み慣れた地域で安全に生きがいを感じながら暮らしていける本町であってほしい。

高齢者を対象とした、口腔機能や運動機能、認知機能などを把握し、町が実施する予防教室などに勧誘する仕組みが必要だ。

【町長】令和2年度からは、国の指示にもとづき、後期高齢者の健康診査時に、質問票でフレイル（加齢による心身の虚弱化）リスクの把握に努めている。

【岡田】「とっとり方式認知症予防プログラム」の実践が介護予防



楽しい体操で介護予防

に有効とされている。導入の検討はされな

か。支援の仕組みができないか。

【町長】体操編は2月から中山ふれあいセンターで、DVDを使い定期的にを行っている。

【町長】活用できるサービスは紹介している。地域共生社会の実現に向けて、地域ボランティア活用など検討して行きたい。

【岡田】介護保険適用外の、高齢者の生活支



西尾 寿博 議員

本町の課題への取組は

町長

町民と協働の まちづくりをすすめる

【西尾】少子高齢化や田畑の荒廃、商工業の衰退など多くの課題があり、本町の活性化が手遅れに感じるが、町長と教育長の見解を簡潔に求める。

【町長】田畑の荒廃や商工業の衰退の主な要因は、担い手不足にあるので、人口減少対策による、働く世代の減少抑制は、本町の活性化に必須である。

また、診療所の存続や組織機構の行財政改革なども引き続き取り



多くの課題を抱える大山町

組む必要がある。今後も町民と協働のまちづくりを進め、3町合併のメリットを生かして努力していきたい。

【教育長】大切にしていきたいことは「ふるさとキャリア教育」である。

豊かな自然や歴史、文化に誇りと愛着を持ちながら、自己の将来の姿と重ねていくことが、本町の活性化に大きく寄与すると考える。

住民サービスの向上には

町長

職員のスキルアップは 欠かせない

【西尾】町民16000人の為に一般会計で130億円、特別会計で60億円の予算を使い、福祉向上と住民サービスを提供する。

その仕事に、正職員約200人と会計年度職員約400人がかわっている。

優秀な人材である職員に仕事の質と量のスキルアップを望むにあたって、どのような職場環境でなら発揮できるのか。

【町長】住民ニーズの多様化・高度化に対応するためには、職員のスキルアップは欠かせない。常に取り組んで

いく必要がある。

【西尾】言いくいこともハッキリと言える職員は重要と考えるのか。

【町長】意見が食い違う職員もいるが、その

意見の中には、違う視点が含まれていて、政策の深みも出てくるものと考えている。

意見交換をしながら、政策を展開していきたい。



町民との大切な接点



大原 広巳 議員

集落営農の今後は

町長

後継者を育成していく



春の農作業本番を待つ水田

〔大原〕農地中間管理事業の状況は。

〔町長〕平成26年度から、6集落、合計327haの農地集約化が進んでいる。

一方で、条件不利地の農地の貸借が、まだまだスムーズでないのが課題である。そういう農地の活用促進も考えていく。

〔大原〕高齢化と人口減によって、集落営農が厳しくなっている。専業農家がいる集落でも、経営品目が違ったり、後継者がいなかったりして、なかなか

か集落全体を管理できないのが現状である。

中山間直接支払や、多面的機能支払い交付金事業からの撤退も聞く。集落ごとのきめ細かい話し合いが必要である。

今後の対応は。

〔町長〕担い手の育成や、分散化した農地の担い手への集積が必要である。

今後も人・農地プランの実質化を進めていきたい。

コロナ禍ではあるが、事業を推進していく。

多子化対策の強化を

町長

サービスの向上をめざす

〔大原〕過去5年間の出生数の推移は。

〔町長〕平成27年から119人、104人、96人、80人、81人となっている。

〔大原〕町長就任時の目標は、120人以上だったが。

〔町長〕令和に入って、合併後初めて社会増となったが、歯止めをかけるには、これに加えて合計特殊出生率の上昇が不可欠である。

〔大原〕子育て支援や婚活に加えて、多子化対策として、第3子以降児に助成金を考えないか。

〔町長〕現金給付より、



保育サービスの充実で賑やかに

サービスの向上をめざしていく。

〔大原〕国の特別給付金は終了したが、出産祝い金として、町で継続しないか。町長が町の特産物を持ち、直接アピールしないか。

〔町長〕給付金は国の事業なので終わったが、私が町の特産物を持って、新生児の家庭に慰労と感謝や、子育て支援の説明にまわることは考えてみたい。



野口 昌作 議員

結婚したら300万円を

町長

予定していない

〔野口〕本町人口が16000人を切った。思い切った政策を取らなければならぬ。結婚に300万円子ども誕生に100万円を支給しないか。

〔町長〕成婚定住は重要な課題だが、祝い金の支給は予定がない。結婚支援の取り組みは引き続き検討したい。

〔野口〕若い人が空き家を購入し生活すれば購入費の半額補助を。

〔町長〕空き家購入の助成は行っていない



居住者を待つ空き家（写真はイメージです）

が、修繕経費の半額（最大150万円）助成している。

なお助成した家に住み続けてもらうため、18歳以下の同居者数に応じた生活支援を行っている。

〔野口〕若い人とともに、楽しみを作り出す話し合いと政策を。

〔町長〕まちづくりを考える各種検討会の委員公募を行っている。子どもの「やりたい」をかなえるテゴテゴプロジェクトも推進している。

集落ヘルパーの創設を

町長

職員の配置はむずかしい

〔野口〕農村を守る多面的支払交付金事業予算が減額補正されている。農村の衰退が垣間見える。取り組み集落の推移は。

〔町長〕取り組みは77組織で変わりはないが、組織内で取り組みをやめた集落もある。

〔野口〕この事業は農村を守っている。取り組み減少のくい止め策は。

〔町長〕高齢化などにより、取り組みができない集落が発生することを懸念している。今後検討すべき課題だ。

〔野口〕農地面積の推移は。



多面的支払で共同作業

〔町長〕平成22年4181ha、令和2年4147haである。

〔野口〕34ha減少している。くい止め策は。

〔町長〕「人・農地プラン」の実質化の取り組みなどで農地を守る必要がある。

〔野口〕農村・地域・集落の衰退をくい止めるため「集落ヘルパー」職員の創設を。

〔町長〕現時点では職員の配置はむずかしい。



大杖 正彦 議員

ワクチン接種の情報公開は

町長

国・県からの供給に合わせて公開する



コロナ感染予防の切り札

【大杖】新型コロナウイルスとの戦いを終らせるために重要な事業である。副作用や高齢者そして基礎疾患を有する人には十分注意する必要がある。

接種計画の開始時期と接種完了までの期間は。

【町長】国・県からのワクチン供給スケジュールが不明のため、計画が立たない。

【大杖】国からのワクチン供給により、県主体で事業が進められる

ことは理解できるが、町民は新聞・テレビなどの報道しか内容を知ることができない。ややもすると大げさであったり不安をあおることもある。

町民にはワクチン接種の情報を正確に伝え、安心感を与える配りが重要と考えるが。

【町長】ワクチンが届かない限り不正確な情報は出せない。町民の安心のため、可能な限り情報を公開する。

【町長】国からのワクチン供給により、県主体で事業が進められる

誰もが住みやすい町へ

町長

思いやりを持ち対応する



池田 幸恵 議員



修繕された誘導ブロック

【池田】庁舎玄関前の視覚障がい者誘導用ブロックが数年前から剥がれている。

公共施設のスロープや手すりも含め計画的点検が必要ではないか。

【町長】考えていきたい。【池田】ハートフル駐車場の屋根が老朽化により撤去された。今後どうするのか。

【町長】現状を変更せず利用してもらう。【池田】事前連絡することで傘を差し出すなど、ソフト面での対応手段もあるがどうか。

【町長】思いやりを持って対応していく。

【町長】考えていきたい。【池田】児童生徒の中には、見た目では気づかれにくい感覚過敏などの特徴を持つ場合もある。

居場所づくりはできているのか。【教育長】症状すべてに対応はできかねる。

【池田】周囲に理解を求めることも居場所づくりになる。気遣いや思いやりを持って接すれば予算をかけずにできることがある。

【町長】思いやりを持って対応していく。

1月

臨時会

1月臨時会（1月28日）

一般会計補正予算(第14号)は、

1億5717万円の増額で、主な内容は

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業 7286万円

新型コロナウイルスワクチン接種の実施にあたり、接種に係る予算を新たに計上するもの。

大山町内に泊まろう！
宿泊応援事業 2050万円

新型コロナウイルス感染拡大にともない、町民限定で宿泊助成を行い、町内宿泊事業者を支援するもの。

大山町経営改善
サポート補助金 200万円

中小企業診断士による経営支援を補助する「大山町経営改善サポート補助金」を創設し町内事業者を支援するもの。

経営転換支援事業 442万円

飲食店等緊急支援補助金など新型コロナウイルス感染症により、影響を受けた事業者支援のための各種補助金制度について、年度末までの見込み申請数に応じた必要額を増額するもの。

一目でわかる審議結果 1月臨時会
3月定例会
提出議案

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留、欠は欠席

1月臨時会														結果			
議案	議員名	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵		岡田聡	野口俊明	西山富三郎
令和2年度大山町一般会計補正予算(第14号)		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 14人 可決
令和2年度大山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 14人 可決
令和2年度大山町介護保険特別会計補正予算(第5号)		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 14人 可決

3月定例会														結果			
議案	議員名	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵		岡田聡	野口俊明	西山富三郎
令和3年度大山町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 14人 可決
令和3年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 14人 可決

◇全会一致で可決した議案

3月定例会 条例(6件)、町道路線認定(6件)、令和3年度予算(13件)、令和2年度補正予算(16件)議案の議決は、杉谷洋一議長を除く15人で行います。

議会の構成決まる

4月30日の臨時議会で、議長、副議長、議会運営委員会、常任委員会の構成が決まりました。



議長：米本 隆記 **副議長：大原 広巳**

・議長、副議長の任期は4年間、議会運営委員会、並びに常任委員会の任期は2年間です。

議会運営委員会

委員長 杉谷 洋一
副委員長 森本 貴之
委員 大杖 正彦
門脇 輝明
池田 幸恵

- ・議会の円滑な運営を図る委員会です。
- ・任期は2年間で各常任委員会委員長を含む5人で構成されます。

常任委員会

総務常任委員会

所管課…総務課、財務課、税務課、会計課、企画課

委員長 門脇 輝明
副委員長 島田 一恵
委員 大森 正治
米本 隆記
西本 憲人

教育民生常任委員会

所管課…福祉介護課、健康対策課、こども課、住民課
幼児・学校教育課、社会教育課

委員長 森本 貴之
副委員長 小谷 英介
委員 野口 俊明
岡田 聡
吉原美智恵
近藤 大介

経済建設常任委員会

所管課…農林水産課、農業委員会事務局、地籍調査課、水道課、建設課、観光課

委員長 大杖 正彦
副委員長 豊 哲也
委員 杉谷 洋一
大原 広巳
池田 幸恵

広報常任委員会

議会だよりの編集や、記事づくりを行います。

委員長 池田 幸恵
副委員長 西本 憲人
委員 近藤 大介・大原 広巳
森本 貴之・島田 一恵
豊 哲也・小谷 英介



【議会選出監査委員】

【鳥取県西部広域行政管理組合議会議員】

【鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員】

野口 俊明

米本 隆記

米本 隆記

議会からのお知らせ

12月定例会以後のそのほかの議会の動きなどをお知らせします。

5名に自治功労者表彰

本議会所属の5名の議員に、長年の活動に対し自治功労者表彰が授与されました。今後も町の発展に寄与していくことが期待されます。受賞者は次の方です。

全国町村議会議長会 自治功労者表彰

鳥取県町村議会議長会 自治功労者表彰



町村議会議員在職 50 年表彰
(名誉町村議会議員)
西 山 富三郎 議員



町村議会議員在職 15 年表彰
吉 原 美智恵 議員
西 尾 寿 博 議員
近 藤 大 介 議員



町村議会議員在職 25 年表彰
岡 田 聰 議員



優秀賞を受賞

議会だよりだいせん第60号が、第28回鳥取県町村議会コンクールで、優秀賞を獲得しました。最優秀賞は取れませんでした。今後もより身近な情報として、議会の様子をコンパクトに読みやすくお届けしていきます。

皆様からのきたんのないご意見をお待ちしています。

議会事務局の紹介

4月から定年退職された持田隆昌さんにかわり、野間光新局長を迎え、張り切ってスタートしました。

新局長談

議会運営がスムーズにいくよう、3人のスタッフで協力し議会活動を支えています。



左から関、野間、三谷



みんなのひろば

声



川上 つぐみ (栄)

大山町の新しい魅力も新しい体制で

若い立候補者が3人とも初当選しましたね。今までは立候補者も少なく、馴染みのメンバーとなっ
てしまっていた大山町議会。町民
の為に最善だと思ふ策、自分を貫
いて欲しいと思つていきます。も
う一つ期待したいことは、住

環境、観光、資源と恵まれている
大山町ですが、そのポテンシャル
の高さを外へ出し切れていないと
感じています。
今はコロナ禍で難しい状況では
ありますが、沢山の人の大山町の
魅力を知ってもらおう。町人も潤

う循環を作るシステムが出来れば、
なんて夢見ています。
若く、聡明で志の高いリーダー
たちがどう舵をきっていくのか、
期待しています。



山福 静香 (みどり区)

新しい風が吹く期待への向けて

私たち家族は大山町に住み始め
て10年が経ちます。この間、沢山
の方々に助けられ、大山町の事が
少しずつ分かってきた気がします。
この度、同じ自治会の方が町議会
議員に当選されました。以前より
大山町に対しての取り組み等、ご

活躍を拝見させて頂いていたこと
から、その方を通して、議員の方を
身近に感じることが出来、改めて
町民にとって議員の方が身近な存
在である事の大切さ、町民と共に、
人と人との繋がりが強くある事が、
よりよい町にしていくのだと感じ

ました。
若い議員の方も増え、新しい風
が吹く期待。大山町の良さを活か
し、また課題の解決にしっかりと
目を向けて、これからの若者の将
来を明るくものへとする時だと感
じています。
町民の意見が十分に反映され、
住みやすい町づくり、そして地域
経済の活性化を是非とも期待して
おります。



高見 達雄 (塩津)

大山町議会に期待すること

この度の大山町議会議員選挙、ま
れに見る大激戦でありました。
選挙の結果、現職12名新人4名計
16名の新しい議員が誕生しました。
特に今回、若い新人の4名が当
選され大山町に令和の時代にふさわ
しい清らかな新風が吹き、議会の活

性化につながるものと確信していま
す。
大山町は基幹産業である農林水産
業、観光、商業、企業等バランスの
取れた町ですが少子高齢化、人口減
少等、課題山積みの中、大山町の将
来を切り開くためには、子どもから

大人まで公正で活力ある持続可能な
社会、大山町を実現しなければなら
ません。
そこで、教育問題、結婚対策、弱
者・高齢化対策、農業振興対策等数
多くの課題解決に向けて取り組んで
頂けるものと町民は強く期待してい
ます。
最後に新型コロナウイルスのワクチン接種
が終了し、1日も早い終息を迎え、
日常の社会・経済活動が再開できる
事を願っています。

南光河原の新緑

あとがき

一昨年からの新型コロナウイルス
ウィルスの影響でイベント
などの中止や外出自粛が続
き、顔を合わせしやべる機
会が減少している。

そのような状況下の改選
で4人の新人候補者が当選
し、本町議会の「J」ウター
ン議員の割合が一気に高く
なった。これは、移住者が
受け入れられる町であると
同時に、これまでと違った
視点で新しい風が吹くこと
への期待の表れではないだ
ろうか。

古くからある本質的なも
のを守るために新しいもの
に重きを置く、不易流行の
理念で新しい議会だよりの
発行に努めたい。

池田

【発行責任者】

議長 米本 隆記

【広報常任委員会】

委員長 池田 幸恵

副委員長 西本 憲人

委員 大原 広巳

委員 近藤 大介

委員 森本 貴之

委員 島田 一恵

委員 豊 哲也

委員 小谷 英介